

レジメン番号	0162	レジメン名	R-Flu
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、フルダラ
がん腫	悪性リンパ腫	インターバル日数	28日

【投与量・投与スケジュール】

1、2コース目

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 (/)	day15 (/)	4週間を1コース	Day1 (/)
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m ² /日	点滴	mg	↓	↓		

3、4コース目

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 (/)	4週間を1コース	Day1 (/)
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m ² /日	点滴	mg	↓		

(支持療法)

※1 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS	100mg	生食	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg	初回：1mg/mLに希釈 2回目～：1~4mg/mlに希釈	
②5%ブドウ糖	500ml		メインルート/点滴

投与間隔>

(メインルート)

(※2 指示通り/側管)

投与順番>

②

→

①

→

終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、

注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は(2)を選択不可)

(1)初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、

最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

(2)臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が

5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

※3 フルダラ錠内服 40mg/m² (各コース：day1~5)